

《41年度山行報告》

伊那松和山部

41年度の山行記録をどうにかまとめました。昨年度は
 現役のOBに返すのがなかなか滞りなく、計画書も送
 ったが、状況がよくなったので山行経過がわからず、OB諸君に
 知っていただくことが出来ず、反省を込めて報告書も
 作ってまいりました。何せ、記録係のほかに気がつかない
 人、~~新~~ 最也の部人、新谷、等入の部から送ってまいりました
 たが、どちらか一方は部報第2号(117号)出身が不明のため
 に記すことが出来ず、部長にお待たせするよう
 お願ひ申し上げます。

42年4月8日 記録係
 150名

41年度役員

CL 新谷 剛

SL 中村 洋

新人係 井上 紀樹

OB係 平 邦彦

装備 牧 晃一

記録 岡村 知彦

会計 中村 康文

42年度新役員

CL 扇能 清

SL 内藤 精二, 村田 讓治, 佐藤 俊彦

新人 井上 紀樹

OB係 新谷 剛

装備 武藤一郎 記録 田貝元行
 会計 笠原邦樹

部員名

出島五郎	農 8,4	新 幸夫	農 8,4
新谷 剛	医 6,2	山川 勝	文 6,3
岡村知彦	教 6,4	福原正昭	農 5,4
牧 尾一	農 4,4	井上紀樹	医 5,1
扇能 清	農 3,2	佐藤俊彦	農 3,3
内藤精二	農 3,3	村田譲治	農 3,3
小出 元	農 3,3	田貝元行	農 2,2
山脇正男	農 2,2	猪飼裕之	農 2,2
笠原邦樹	農 2,2	米倉幸夫	農 2,2
山下恭弘	農 2,2	手沢三男	農 2,3
武藤一郎	農 2,2		

学土山岳会新会員

西郡光昭	平 邦彦	田中正治
中野康文	西阪 亨	中村 洋

転出部員

山田正弘 工 3,2 (長野山岳部へ)

21とせも、下<せもあ子卒業生はカリ2下加 学土山岳会
 員とつた以上、下、3つり可愛外2下2下上10。現役
 一同大願1111はます。

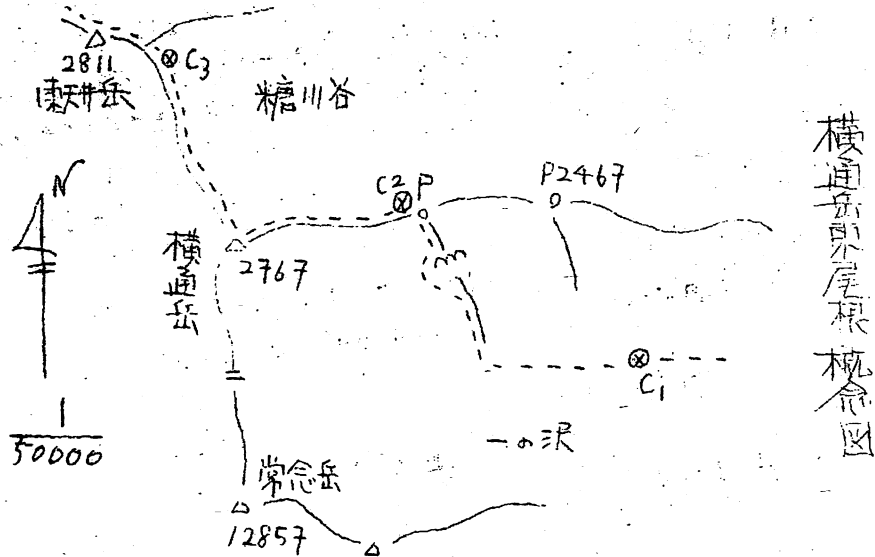
春山合宿 1964年3月24日 = 4月9日

行動

横通岳 栗尾根 = 大天井岳 = 槍岳 = 大天井岳
= 燕岳の縦走を以てラッシュ経復

参加者

西郡光昭, 牧見一, 扇能清, 金子鉄男



別隊の奥大栗尾根より剣岳の山行は中止と判断した。

鹿島強化合宿

今回の主眼とするものは基礎技術の徹底的訓練にありませう。
山への想は、考え主張は人それぞれはありませうが山に行け
なくとも何かになります。学生時代の山行は社会へ出たか
らの基礎があると考える我々にとり一番大切なことだと思ふ。
遺棄を起さず下山は1170を考えたのは「たまたまは自分の技
術確認だ」と思ふ。-----。「計画書、CLのことは」あり。

期間 4月29日 = 5月8日

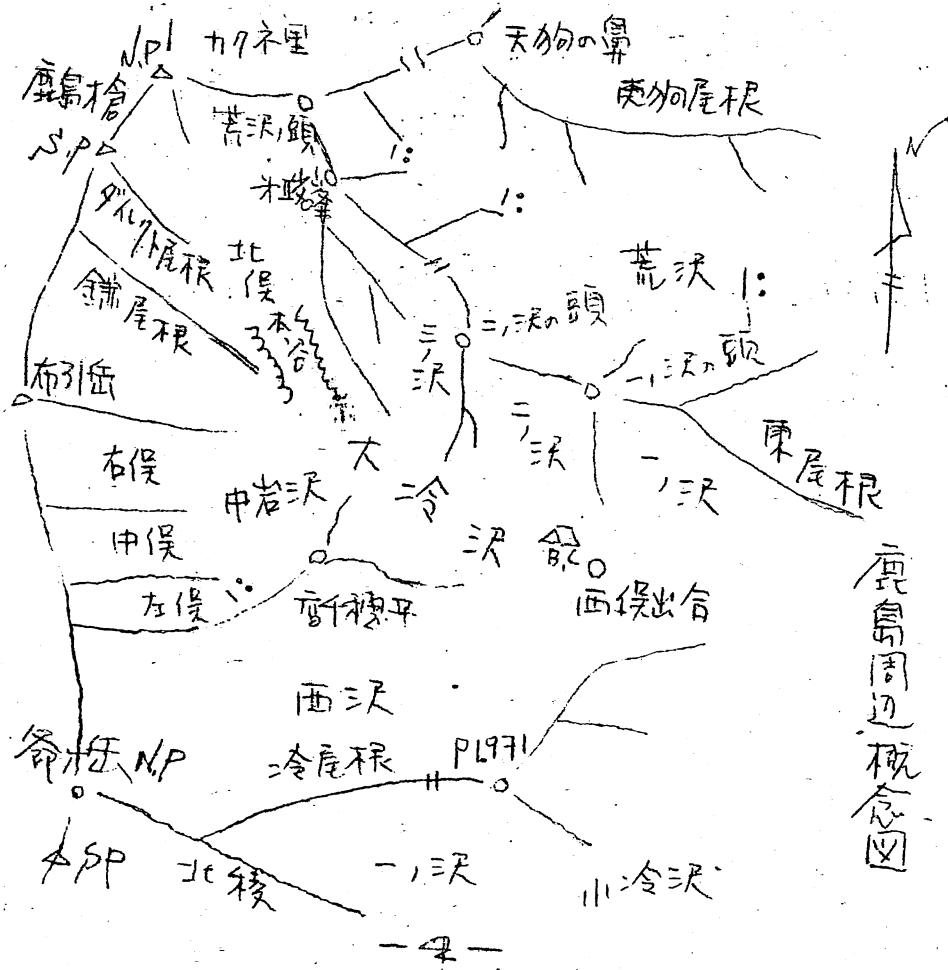
参加者

CL 新谷剛, 出島五郎, 西村知彦, 中村洋, 牧見一,
内藤精二, 木下盛弘, 村田謙二, 扇能清,

小林幹夫

行程概要

- 4月29日 入山, 西俣出合, B, C 設営
- 30日 北俣本谷に2技術訓練, 三沢下降
- 5月1日 (1) 三沢=東尾根=荒沢下り (2) 冷尾根
(3) 爺岳北稜 (2)(3)は西沢に2箇所止訓練
- 3日4日は沈
- 5日 道上訓練から東尾根集中, 尾根
(1) 才正岩峰南尾根 (2) 三沢の頭=北俣本谷,
(3) 二沢の頭南尾根=一沢下降,
- 6日 (1) 外尾根 (2) 三沢=荒沢南俣=北俣
=天狗尾根 (3) 中岩沢=鋸尾根,
- 7日 (1) 布引岳東尾根 (2) 中岩沢右尾根(仮称)
(3) 中岩沢左尾根(仮称)
- 8日 下山



鹿島周辺概念図

山岳会新人訓練合宿

期間 5月29日 = 6月5日

場所 横尾にBIC 三ツ沢, 本谷, 本谷三ツ沢に2博士兼訓練

〔L〕宇都宮昭義(長野, 工)

〔S〕新谷剛(伊松 医) 望月映洲(長教)

佐々木史郎(土田, 織)

参加者

西郡光昭, 新谷剛, 小川勝, 中邨康文, 岡村知彦,
中村洋, 福原正昭, 牧是一, 小林幹夫, 木下盛弘,
小出元, 佐藤俊彦, 内藤精二, 扇能清, 山田正弘,
村田讓治, (以下新人) 大滝義博, 田村野晴夫,
武藤一郎, 田貝元行, 矢部親治, 山脇正男, 三浦
考久, 明星晋, 米倉幸男, 佃恭幸, 石島順三, 笠原邦樹,
猪飼啓之, 山下泰弘, 寺沢三男

他 長野山岳部員, 上田山岳部員 計 65名

今年交か、の教養部統合に併し、松本に集る新人をどうするか SAC
の材構をどうするかという問題は昨年一年間の SAC 全体の
課題であった。話しあひの結果 SAC の材構は正しく、新
人合宿の件にはこれほど各山岳部によつて行なひ出す事
なつてあり、その方向に進んで来たが、竟さい新人加入部
に「1-ニク」等はいれなくては以前に去つたかた
要素が加つて来た。全員が集まつた新人歓迎コンパニ行なつ
た時、松本の土級部員も話しあつて今度の合宿と
SAC 全体をどう行うかは、-----

—— 計画書 巻頭言 (宇都宮) より ——

夏山合宿

(1) 北川(1) 又 縦走 7月20日より

(2) 小川, 田中, 村田 大滝, 田貝, 武藤, 米倉,

小川温泉 = 鹿島橋 = 本谷岳 = 前穂宿岳

(2) 北ア川沿い縦走 7月25日より

(L) 岡村, 扇能, 木下, 塩原, 佃, 宿屋, 山下
舟屋尾根 = 烏帽子岳 = 雲, 平 = 葉師岳 =
扇岳 = 内蔵岳, 平 = 岡部下郎下 = 祀田岳
= 清水尾根 = 白雲岳

(3) 南ア川沿い縦走 7月25日より

(L) 出島, 内蔵, 小杯, 佐藤, 寺沢, 山田, 山脇
猪会司,

北御堂, = 鳳凰山 = 厚岳 = 小太郎山 =
10, 岳 = 車打峠 = 軒小屋 = 二本尾根
= 荒川岳 = 赤石岳 = 尖岳 = 加々森山 = 遠山川

(4) 奥又白定着合宿

(L) 新谷, (S) 岡村, 西郡, 小川, 内蔵, 小杯,
扇能, 山田, 山下, 山脇, 寺沢, 武藤,
山田和彦先輩, 前田先輩,

右岩稜, 新谷, 松尾, 甲斐, 明大, 北壁
A, B face = 岩 face, etc のルート。

(5) 10人山行

日新11/10人山行と12日山行が合併される。
8月9日 ~ 16日

中野康文, 牧晃一, 守都宮昭義 (E)

日新 シュンベツ川 = カイイクラチカラ三山
= サツタイ川

秋山合宿

(1) 奥又白西面と奥又白尾根偵察 7月28日 = 10月7日

(L) 中村, (S) 福原, 小川, 杉田
寺沢, 武藤

奥大日屋根偵察, 白萩川, 小窓川, 立山川 = 今井
小又川 - 谷偵察 etc

(2) 南川谷, 地獄谷立山川周辺 9月30日 = 10月9日
(C) 新谷 (S) 内藤, 米倉, 猪飼, 田貝, 笠原, 井上,
赤岳沢, 地獄谷本谷, 上梅理沢, 天狗屋根,
三ツ内川沢, 裏同心川 etc の各ルート登攀

(3) 仙丈西面, 三峯川源流 9月29日 = 10月6日
(C) 牧, (S) 扇能, 山田, 小出, 山脇, 山下
平, 高島,
三軒岩小屋沢, 岳沢, 鬼白谷, 柳沢 etc 登攀

冬山合宿 (南川谷縦走)

(1) 三伏峠 = 聖岳隊 12月22日 = 30日
(L) 福原, 村田, 扇能

(2) 三伏峠 = 仙丈岳隊 12月22日 = 30日
(L) 中村, (S) 井上, 小出, 寺沢, 山下, 田貝, 米倉, 武藤

(3) 夜叉神峠 = 早川屋根 = 仙丈岳 12月21日 = 30日
(L) 牧, 佐藤, 小川, 山田, 山脇, 猪飼, 笠原,

春山合宿 (奥大日屋根より今井岳, 立山及び薬師平の縦走)

40年夏の春山合宿が種々の理由で計画が立たず、たまたま
今夏 = 昔ほど同じ奥大日屋根より今井本山峰, その右薬師平の
縦走の計画が40年夏の敵いりといふことになり行けなかつた
が5月の部総会に決定した。「計画書 (Lの二は) あり

期間 3月5日 = 3月20日

参加者 (C) 中村洋 (S) 福原正昭

内藤, 井上, 村田, 牧, 武藤, 山脇, 山下, 山田 田貝
寺沢, 笠原, 猪飼, 扇能, 岡村, 小川,

馬場島 = コイト沢 = 中山の2L = クスハ山 = 西大谷山
= 奥大日岳 = 別山京起 → 上部部員, 剣ヶ峰
離走隊 (全員4人) → 下部部員, 立山方面

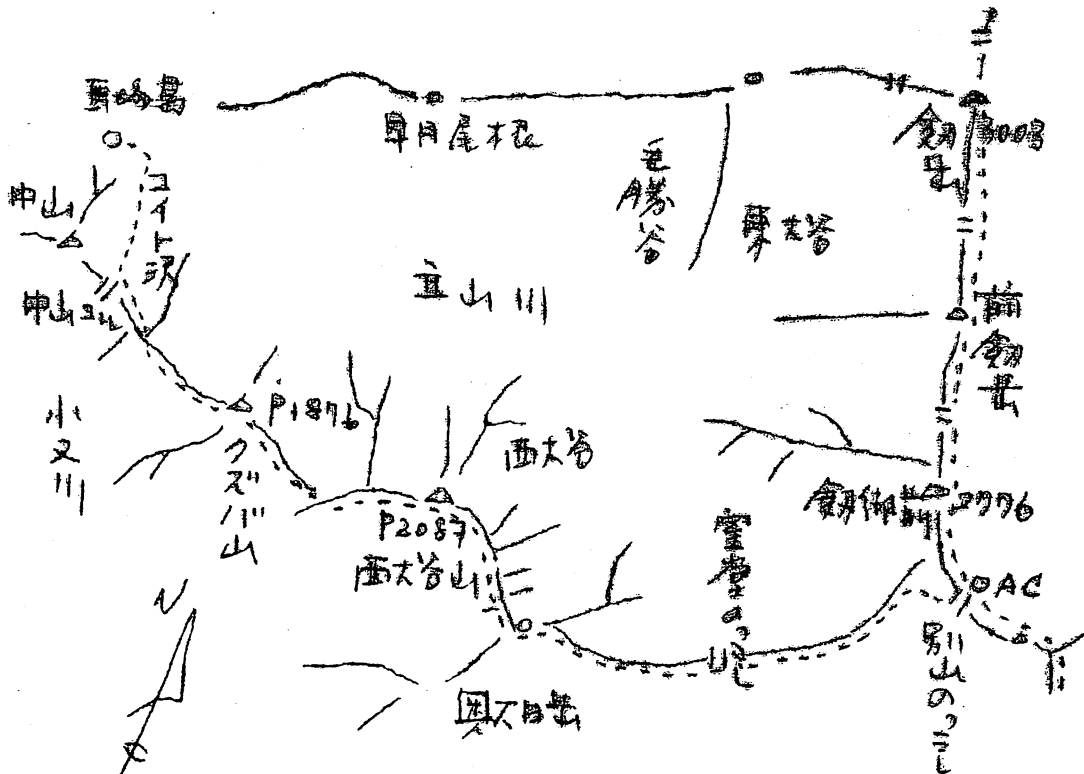
(上) 中村, 福原, 扇能, 村田, 内藤,

体調が悪く、越前室堂巨へ下山

下山隊

(下) 牧, 小川, 岡村 他一毎部員

奥大日屋根より馬場島へ伊折へ



奥大日屋根概念図